

教育プログラム・コースの概要

大学名等	岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻						
教育プログラム・コース名	新治療開発コース（大学院正規課程）						
対象職種・分野	医師、歯科医師、薬剤師、医療職医学						
修業年限（期間）	総合医学専攻博士課程 4年						
養成すべき人材像	大学院正規課程で腫瘍学の基礎研究を学び、個別化医療を推進するため、分子標的薬やコンパニオン診断薬、がん免疫療法、遺伝子治療薬等の創薬研究や新たな治療法の開発を担う医師等の人材。						
修了要件・履修方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門科目14単位(下記)、自由選択科目6単位以上を取得する。 ・ 特別研究6単位を取得する。 ・ 上記の合計30単位を取得し、学位審査に合格すること。 						
履修科目等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門科目：腫瘍病理学、形態機能病理学分野、消化器外科・小児外科学分野、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野等の抗腫瘍薬の創薬や新治療を研究する科目より選択 ・ 新治療開発特論 15講義のうち10回以上を必須 ・ 新治療開発実習 2コース以上履修を必須 ・ 人を対象とする臨床研究を行う場合は、参加施設の生命倫理委員会の承認を得た後に、関連するガイドラインに則り進める。公正研究・生命倫理・情報セキュリティ・利益相反に関する講義の受講を必須とする。 						
がんに関する専門資格との連携	なし						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新治療開発特論及び新治療開発実習は正規の大学院科目である。 ・ 新たに設置する新治療開発特論及び新治療開発実習は、東海国立大学機構として法人統合している名古屋大で実施される特徴あるプログラム「先進がん治療開発研究」及び基盤医科学実習バーシットレニング「先進がん治療開発研究」とそれぞれ連携する。両大学の単位互換制度を利用する。 ・ 専門科目のがん研究では、岐阜大学の強みである以下の特色を活かして研究内容を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜薬科大学と連携した各種がんにおける病態解明と創薬研究 ・ 東海国立大学機構糖鎖生命科学研究所(iGCORE)と連携した糖鎖集合体からの病態解析と創薬研究がんの創薬研究 ・ 令和7年度に設置する「次世代がん医療講座」と連携した新薬治療開発 ・ 講義をウェブ上で配信することで受講しやすい環境を整備する。 ・ 名古屋大や参画大学間とのネットワークを活用して研究情報の共有及び集約、若手研究者の研究室間の相互交流による有機的な連携体制が期待できる。 						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主専攻科目の担当教員, 本事業の担当教員ならびに本事業で雇用する特任教員, 学外招聘教員によるオンバス講義及び実習を行う。 						
修了者の進路・キャリアパス	大学やがん専門施設において、分子標的薬やコンパニオン診断薬、遺伝子治療薬等の創薬研究や新たな治療法の開発を担う医師又は研究者。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
		5	5	5	5	5	25
受入目標人数設定の考え方・根拠	過去の腫瘍病理学分野の大学院入学生と臨床教室からの学内留学を合わせて年間3名の実績があり、毎年度3名に設定。						